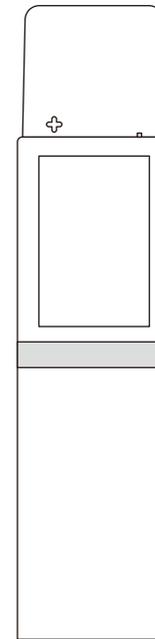


取扱説明書

CB-07

エコット

日本国内専用 Use only in Japan



ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくお使いください。特に「安全上の注意」は必ずお読みください。

お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

もくじ

● 安全上の注意 1 <ウォーターサーバー>	
・ 設置について	2-3
・ 使用について	4-6
● 安全上の注意 2 <ケトル>	
・ 使用について	7-9
● 各部名称	10-14
● ウォーターサーバーの設置の仕方	15-17
● 扉の開け方とチャイルドロックについて	18
● 操作パネルとケトルについて	19-21
● 故障かなと思ったら	22-24
● お手入れの仕方	25-26
● 仕様	27

発売元

株式会社コスモライフ

〒675-0032 兵庫県加古川市加古川町備後 358-1

安全上の注意 1 <ウォーターサーバー> 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明

警告 「死亡または重傷※1を負う可能性がある内容」を示します。

注意 「軽傷※2を負うことや、物的損害※3が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

○ 中の絵や近くで、してはいけないこと（禁止）を示します。

● 中の絵や近くで、しなければならないこと（指示）を示します。

△ 中の絵や近くで、注意を促す内容を示します。

※1.重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
 ※2.軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
 ※3.物的損害とは、家屋・家財、及び家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

設置について

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

● 電源は AC100V(50/60Hz) 以外使用しない
 ・延長コードの使用やタコ足配線は、火災・感電の原因。

● 可燃ガスの漏れる恐れがある場所や、シンナーなどの揮発性の高い溶剤などを近くで使用しない
 ・爆発・火災の原因。

● 電源コードを傷つけたり、引っ張ったり、ねじったり、上に重いものを載せたり加工、加熱しない

● アースを確実に接続する
 ・ご使用中の電化製品のアースと一緒に共有接続していただいても構いませんが、ガス管・水道管・避雷針・電話回線のアース線とは共有接続しないでください。法令で禁止されております。お近くの電気店へご相談ください。

● 電源プラグ、コンセントにホコリが付着していないか確認し、コンセントに電源プラグを確実に挿し込む
 ・火災・感電の原因。

● 日本国内のみで使用してください

● 電源コードを束ねたまま、使用しない
 ・発熱の原因。

設置場所

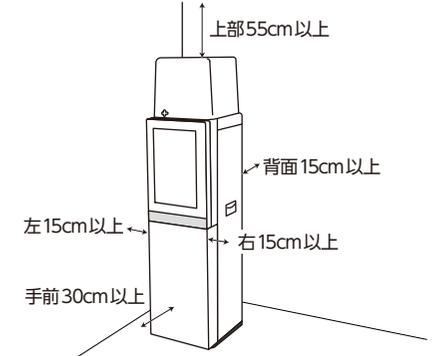
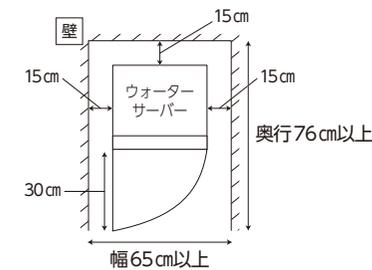
ウォーターサーバーが安定するように設置する

- 水平で丈夫な場所（ウォーターサーバー本体手前 30cm 含む）
- じゅうたん、たたみ、塩化ビニール製床材などの上には設置しない
- ウォーターサーバーの下に板、じゅうたん、ブロックなどを敷かない
 ・振動・騒音・転倒によるけが・感電・火災の原因。

設置スペース

- ウォーターサーバーの背面及び両側面は 15cm 以上離して設置する
 ・熱がこもり、機器の機能が低下する原因。
- ウォーターサーバーの手前 30cm の範囲には段差になるような障害物は置かない
 じゅうたん、ホットカーペットなども同様です・故障・破損の原因。
- 左側面（扉側）+15cm は扉の開け閉めのために必要な空間です

必要水平域は幅 65cm×奥行き 76cm です
 ※図は必要最小設置寸法です



注意 誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される、または物的損害の発生が想定されるもの

- ウォーターサーバーの移動は必ず 2 名以上で行う
 ・本体が転倒し、けがの原因。
- 傷つきやすい床の上で、ウォーターサーバーを引きずらない
 ・床に傷をつける原因。
- ストープなど熱源の近くや、機器に水がかかる場所には設置しない
 ・機器の変形・機能の低下・漏電の原因。
- ウォーターサーバーは直射日光が当たらず、高温多湿でない場所に設置する
 屋内専用機器のため、屋外に設置しない
 ・機器本体の性能を損なう原因。

- ウォーターサーバーが届いたとき、移動したときはすぐに電源を入れない
 冷媒ガスを安定させるため、数時間程度経ってから電源を入れる
 ・冷却不良を起こす原因。（一般的な冷蔵庫と同じ。）
- 設置後、ウォーターサーバーの内部や冷水管口からの水漏れがないか確認する
 わずかな水漏れがある場合でも使用を中止する
 ・火災・感電の原因。
- ボトルをセットしないで、電源プラグをコンセントに挿し込まない
 ・機器の機能の低下・故障の原因。

安全上の注意 1 <ウォーターサーバー> (つづき)

使用について

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

禁止

- 電源プラグに濡れた手で触れない
コンセントに水をかけない
電源コードを持って電源プラグを引き抜かない
電源コードを束ねず、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使わない
・感電・断線やショートによる火災の原因。

禁止

- 背面の放熱板（配管）を傷つけない・故障・発火・爆発の原因。
- 本体や内部に水をかけない・火災・漏電の原因。
- 背面パネルから棒や指を入れない・放熱板による、やけど・感電の原因。

高温注意 **プラグを抜く**

- 焦げ臭いなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜く
・感電・火災の原因。

プラグを抜く

- ウォーターサーバーのお手入れや移動の際は、ケトルを取り外し、電源プラグを抜いてから行う・感電・やけどの原因。

分解禁止

- 絶対に自分で分解したり修理を行わない
本体を故意に破損させない
・感電・水漏れの原因。不当な改造や修理による故障・事故については保障いたしかねます。

注意 誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される、または物的損害の発生が想定されるもの

禁止

- 当社が指定するボトル以外は取り付けない・故障の原因。
- ボトルカバーの上に物を載せない・故障の原因。
- ウォーターサーバーに乗ったり、ぶら下ったりしない
寄りかかったり、揺すったり、傾けたりしない
・機器の変形・機能の低下をまねいたり、本体が転倒し、けが・感電・火災の原因。
- ウォーターサーバーは小さなお子様など取扱いに不慣れな方だけで使用したり、乳幼児に触れさせない
・感電・けが・やけどの原因。
- ケトル検知ピン（11 ページ「各部名称」を参照）は指で押さない
ケトル接続部には触れない・やけどの原因。



● ウォーターサーバーに貼り付けてあるシール類をはがさない
・感電・けが・やけどの原因。



● 通常使用時は電源プラグを挿したままにする
・水質変化による不快なおい・味の原因。

● ウォーターサーバーへのボトルの設置はゆっくりと確実に
・強い衝撃を加えるとボトル破損・ウォーターサーバー本体が転倒する原因。

● ウォーターサーバー背面の放熱板（配管）、またコンセントなどのホコリは必ず定期的に取り除く
・機器の機能の低下・火災などの原因。



● 背面の放熱板（配管）に手や足を触れないように注意する
※まれに背面や側面が熱を帯びることがありますが、効率的に放熱を行うための放熱作用です
・けが・やけどの原因。

● ウォーターサーバーの角部、上・下扉の角部に注意し、衝突などしないように注意する
・小さなお子様が頭をぶつけて、けがをする原因。



● ケトル及びお湯は高温のため、やけどに十分注意する
・上・下扉にチャイルドロックがありますが、お子様がケトルに触らないように注意してください。



● 冷水レバーはゆっくりと押し、ゆっくりと戻す
・コップなどが破損し、けがの原因。



● 上扉のチャイルドロックつまみ及び下扉のチャイルドロックボタンに液体がかかったとき、電源プラグを抜いてお取扱い店にご連絡ください
・チャイルドロックが正常に機能しない原因。



● 逆止弁が外れた場合でも使用中のボトルを抜かない・水漏れの原因。
※ボトルをセットした際に、ボトル挿込口に付いている白いキャップのような「逆止弁」が外れて、ボトルの中に浮かぶ場合があります。衛生・安全上問題はありませんので、そのままお使いください



● ウォッシュブルカップ取付口（13 ページ「各部名称」を参照。）をお手入れする際、清潔なふきんや柔らかい布で行う
※洗剤やアルコールなどは絶対に使用しないでください
・においなど発生の原因。

安全上の注意 1 <ウォーターサーバー> (つづき)

注意 誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される、または物的損害の発生が想定されるもの

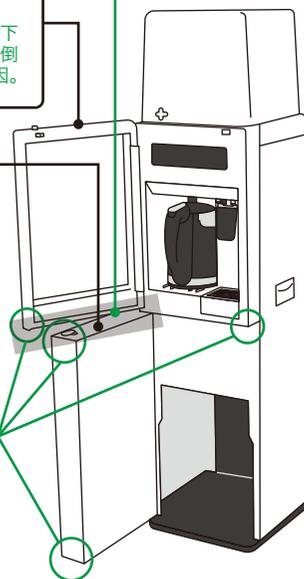
扉を開閉する際、ご注意ください

- 強制**
 - 扉を開閉するときは、隙間に手や足を挟み込まないように注意する
周りに小さなお子様がないことを確認してから行う・**けがの原因**。
 - 扉を開閉するときは、周りに何も無いことを確認してゆっくりと行う
開閉時は強い衝撃を与えない・**破損の原因**。
- 禁止**
 - 扉の中に頭や体を入れない・**けが**・**やけど**・**幼児閉じ込めの原因**。

禁止
上・下扉の上に乗らない
体重をかけない
・機器の変形・機能の低下
をまねいたり、本体が転倒
し、けが・感電・火災の原因。

注意
下扉を開閉する際、上扉との
間（グレーの部分）に手や指
を挟まないように注意

注意
上・下扉、ウォーター
サーバーの角は鋭く
尖っているため、けが
をしないよう注意



注意
上扉・下扉まわり

安全上の注意 2 <ケトル> **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明

警告 「死亡または重傷^{※1}を負う可能性がある内容」を示します。

注意 「軽傷^{※2}を負うことや、物的損害^{※3}が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

禁止 中の絵や近くで、してはいけないこと（禁止）を示します。

強制 中の絵や近くで、しなければならないこと（指示）を示します。

注意 中の絵や近くで、注意を促す内容を示します。

※1. 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2. 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3. 物的損害とは、家屋・家財、及び家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

使用について

警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

- 分解禁止**
 - 分解・修理・改造をしない
※修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です
・火災・感電・けがの原因。
- 強制**
 - 異常・故障時には、ただちに使用を中止し、お取り扱い店にご連絡ください
・火災・感電・けがの原因。
- 禁止**
 - 注水口や注ぎ口に手を触れたり、顔などを近づけたりしない
※特に小さなお子様や乳幼児には触らせないように注意する
・やけどの原因。
 - 注水口や注ぎ口をふきんなどでふさがない・やけど・フタの変形の原因。
- 禁止**
 - 満水目盛（1ℓ）を超えて水を入れない・お湯の吹きこぼれによる、感電・やけど・けがの原因。
 - 傾けたり、倒したり、振ったりしない
抱きかかえたり、衝撃を加えたりしない・お湯の吹きこぼれによる、やけど・けがの原因。
- 強制**
 - フタは音がするまで確実に閉める
・お湯の吹きこぼれによる、感電・やけど・けがの原因。
- 注意**
 - ケトル接続部・接続部に金属（ピンや針金など）・異物・ゴミ・ホコリが付かないように注意する・ショート・火災・感電の原因。
 - 転倒しないように注意する・お湯の吹きこぼれによる、やけど・けがの原因。

安全上の注意 2 <ケトル> (つづき)

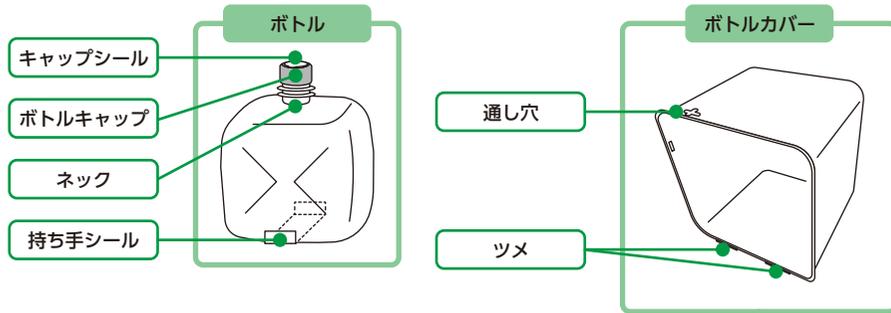
警告 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

-  ● お手入れや点検、ウォーターサーバーを移動の際は、必ずケトルを外す
・感電・けがの原因。
-  ● 水以外のものを沸かさない
・お茶・牛乳・酒・ティーバッグ・お茶の葉・インスタント食品、缶・瓶・陶器などを入れて使うと、泡立って吹きこぼれ、やけどの原因。
また、こげつき・腐食・故障の原因。
- 氷を入れて、保冷用に使わない・冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障の原因。
-  ● 直火（ガス台など）・電磁調理器（IHクッキングヒーターなど）・電気ヒーター・電子レンジを使わない・火災・熱変色・変形・誤動作・故障の原因。
-  ● 浴室などの湿気のある場所で使わない
ウォーターサーバー以外の水のかかりやすい場所や、底部が濡れるようなところに置いて使わない
接続部に水をつけたり、水をかけたりしない・ショート・火災・感電・故障の原因。
-  ● 小さなお子様など取扱いが不慣れな方だけで使用したり、ケトルを外して使う際、乳幼児の手が届くところに置かない
・やけど・感電・けがの原因。
-  ● 沸とう後、中身が冷めるまでフタを開閉しない
フタを勢いよく閉めない・蒸気でやけどの原因。
-  ● パッキンが変形・変色したり、汚れや破損が酷くなったり、フタのすき間から蒸気が漏れ出した際は、ただちに使用を中止し、お取り扱い店にご連絡ください
・お湯がこぼれて、やけどの原因。
-  ● フタを開ける際は、必ず中のお湯を冷まし、空にしてから開ける
※特に沸とう直後は、熱くなるので大変危険です
・やけどの原因。

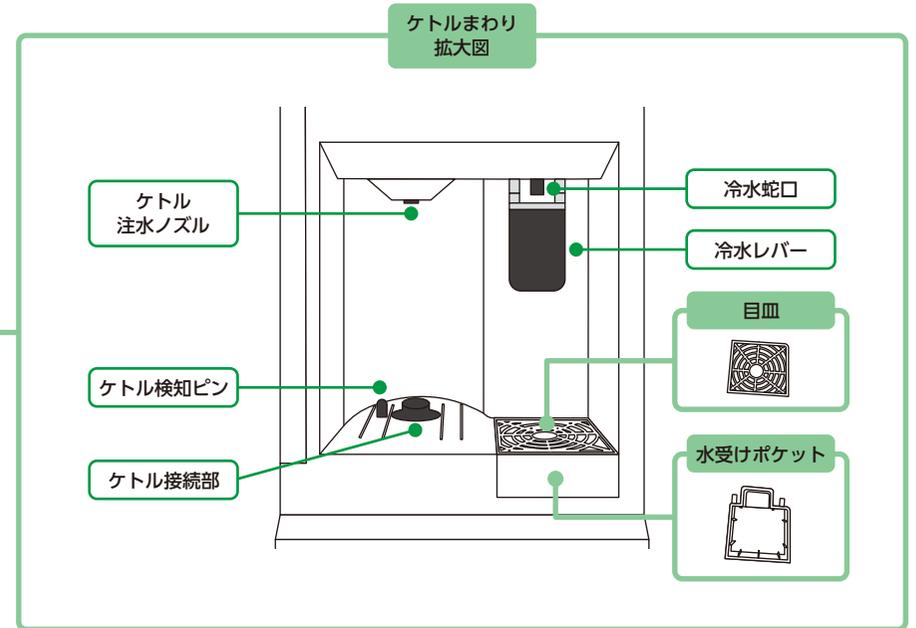
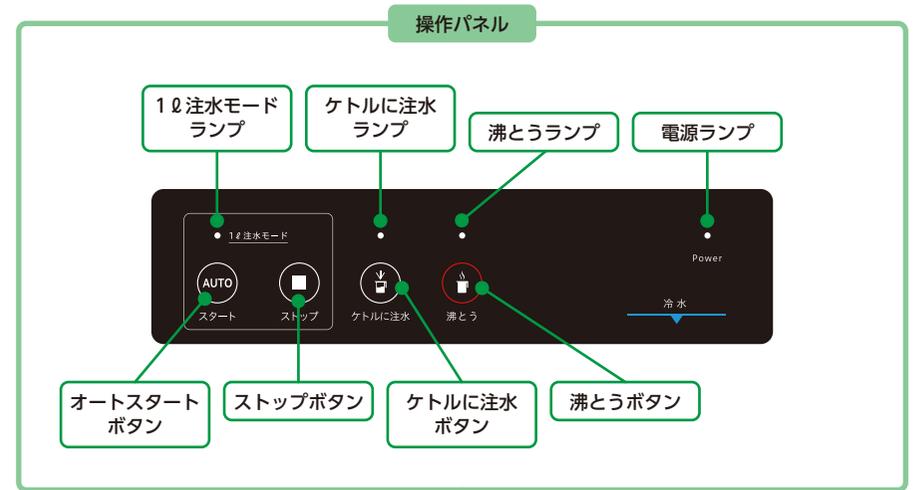
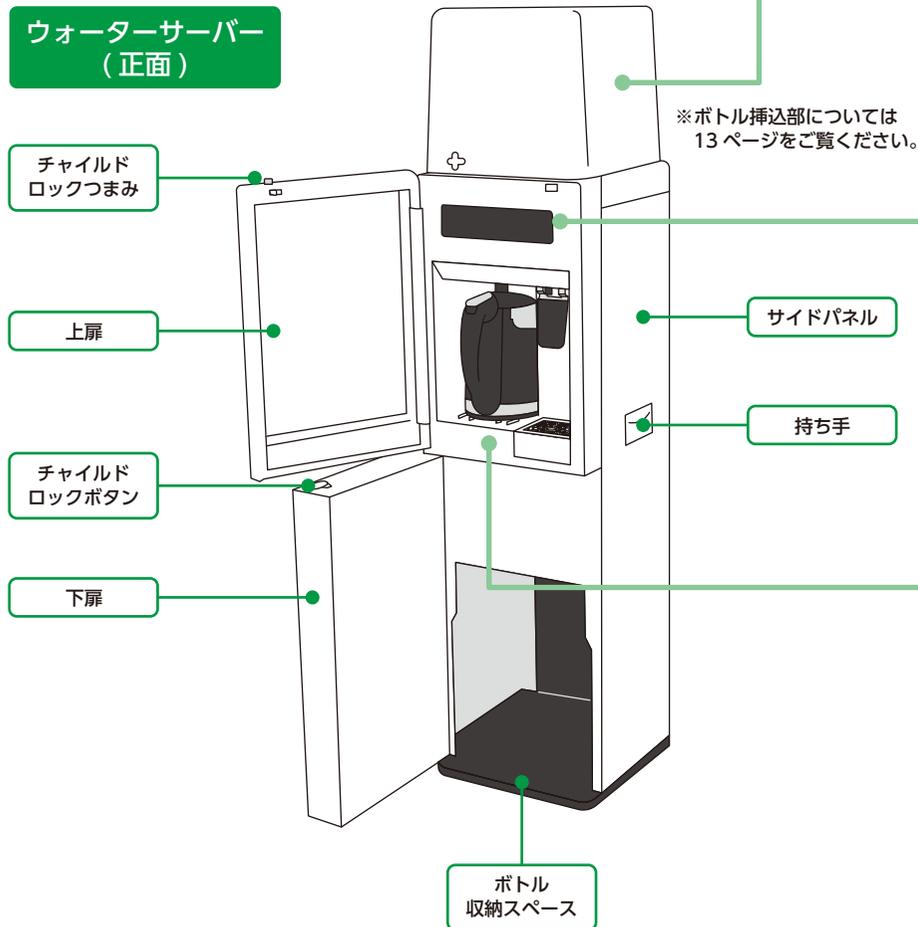
注意 誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される、または物的損害の発生が想定されるもの

-  ● 沸とう中、沸とう直後はケトルの高温部に触れない
フタを外すときに出る蒸気や露に触れない・やけどの原因。
-  ● ケトルを外して使う際、壁や家具の近くで使わない
・蒸気や熱で壁や家具を傷め、変形・変色の原因。
- ケトルを外して使う際、不安定な場所・熱に弱い敷物やテーブルなどの上で使わない
・火災・やけど・けがの原因。
また、敷物・テーブルの変色・変形の原因。
-  ● 沸とう中はウォーターサーバーを移動させない
沸とう中はケトルへの注水はしない・やけどの原因。
-  ● ウォーターサーバーのケトル接続部に、専用ケトル以外を接続しない
専用ケトルを、他の機器に接続しない・火災・故障の原因。
-  ● お手入れは冷えているのを確認してから行う・高温部に触れると、やけどの原因。
-  ● ケトル使用後は残り湯を捨て、ケトルの中身を毎回空にする
・水垢の付着・お湯の変質・ケトル内側の変色・においの原因。
-  ● 残り湯を捨てるときは、必ずフタを閉めたまま捨てる・やけどの原因。
-  ● 逆さにして置かない・故障の原因。
-  ● お手入れの際は、接続部（底部）に水をかけない・ショート・感電・故障の原因。
-  ● 火気の近くで使わない・変形・故障の原因。
-  ● 直射日光が長時間当たる場所で使わない・故障の原因。
-  ● 空焚きをしない・熱変色・故障の原因。
- 備長炭などの炭を入れて使わない・故障の原因。

各部名称



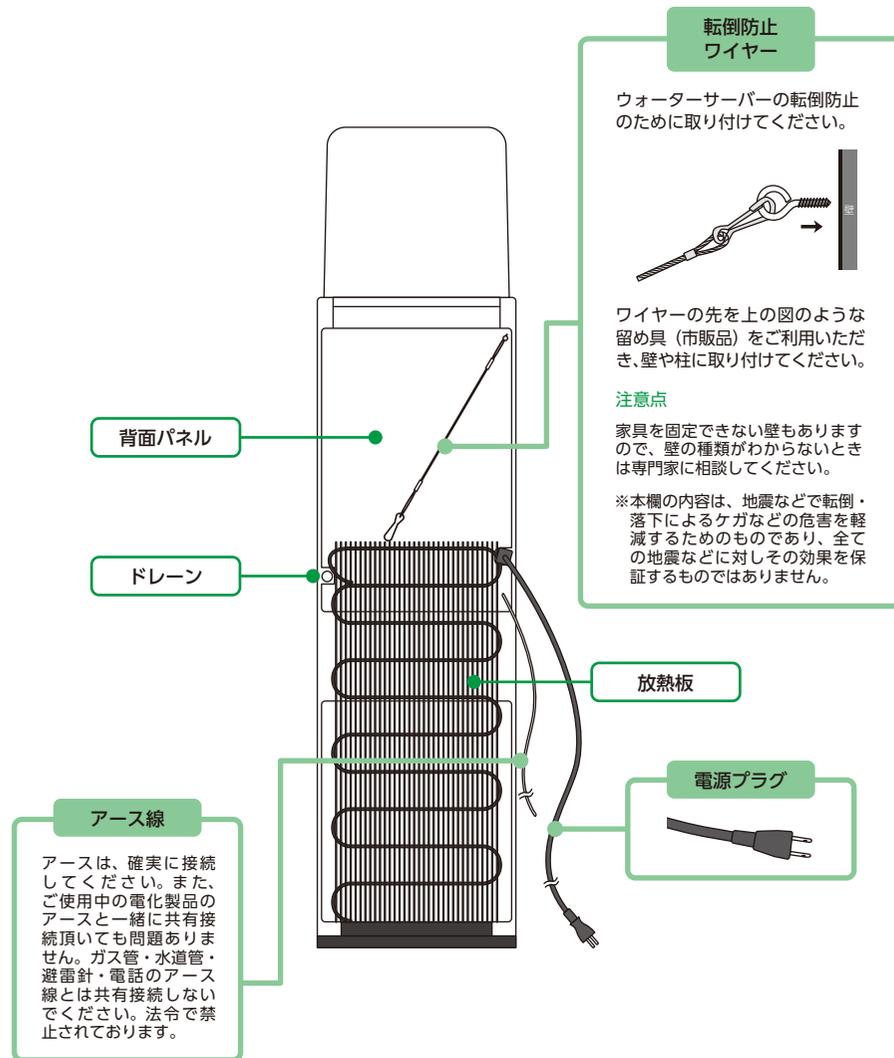
ウォーターサーバー (正面)



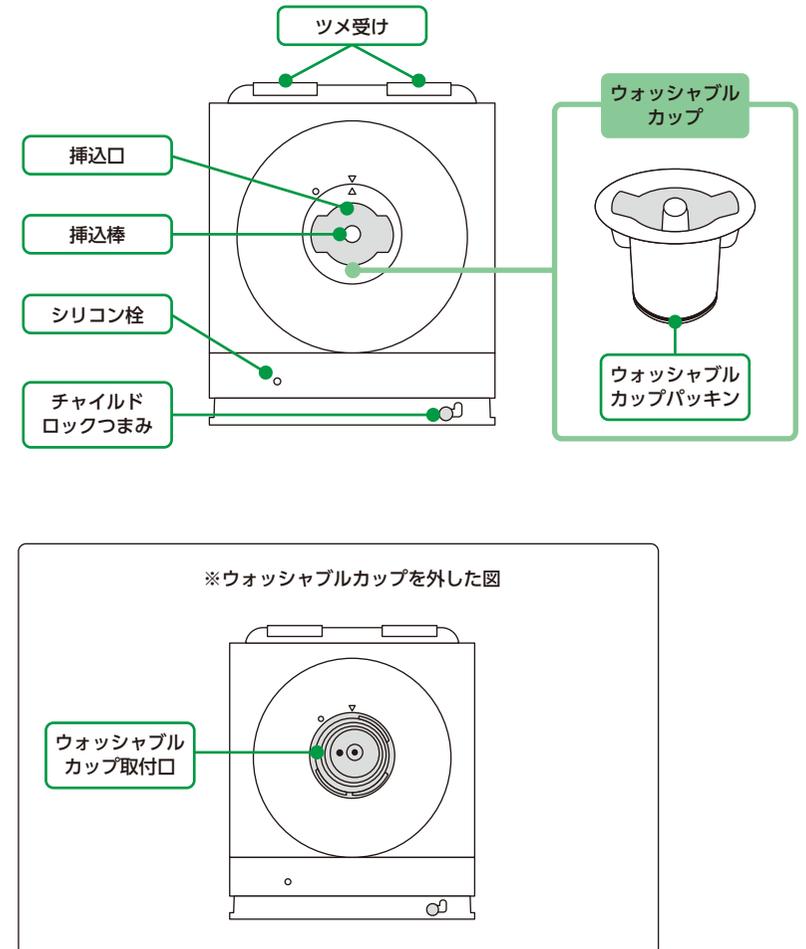
※ケトルについては14ページをご覧ください。

各部名称 (つづき)

ウォーターサーバー (背面)



ウォーターサーバー (ボトル挿込部)



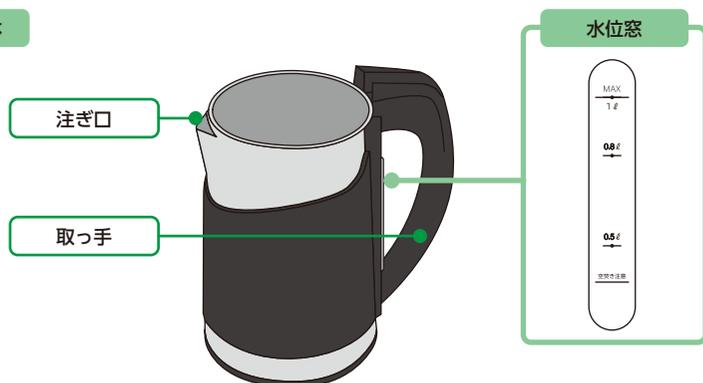
各部名称 (つづき)

ケトル

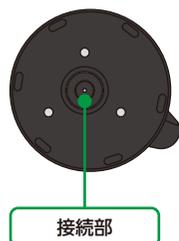
フタ



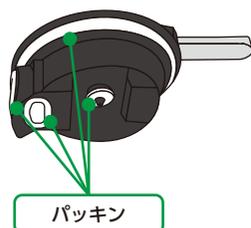
ケトル本体



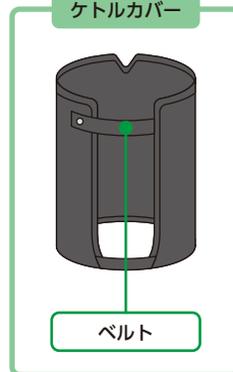
底部



フタ裏面



ケトルカバー



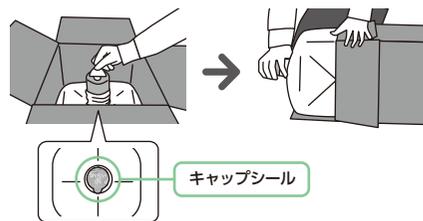
ウォーターサーバーの設置の仕方



①ウォーターサーバー・ボトルカバー ②ボトルは別便で配送されます。
①②がすべて揃ってから設置をしてください。

※ボトルをセットしてから電源プラグを挿し込んでください。
※ウォーターサーバーが届いたとき、移動したときはすぐに電源を入れないでください。
(冷媒ガスを安定させるため、数時間程度経ってから電源を入れてください)

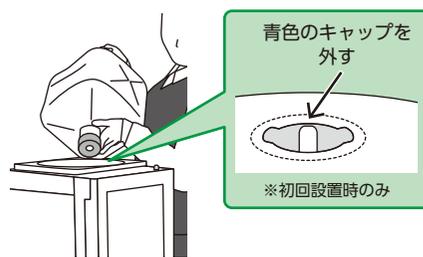
1 ボトルキャップのキャップシールをはがし、段ボールからボトルを取り出します。



2 ボトルの底部の持ち手シールとネックを持って持ち上げます。

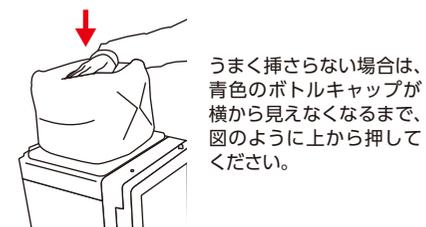


3 ウォーターサーバーのボトル挿入口に合わせて垂直にセットします。

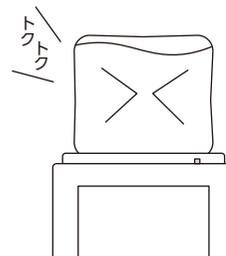


4 ボトルが挿込棒にしっかり挿さっているか、確認してください。

(ボトルを横から見て、ボトルキャップがほとんど見えない状態が正常です。)



5 ボトルから本体のタンクに給水される音を確認します。



6 上扉を開け、冷水蛇口から水が出ることを確認してください。

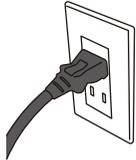
(初回のみコップ2杯程度捨ててください。)



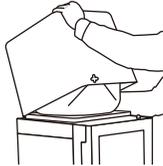
※「扉の開け方とチャイルドロックについて」は18ページをご覧ください。

ウォーターサーバーの設置の仕方 (つづき)

7 給水されたことを確認後、電源プラグをコンセントに挿し込みます。コンセントに挿し込むと電源が入ります。



8 ボトルカバーを上からかぶせます。



※「ボトルカバーのかぶせ方と外し方」は 17 ページをご覧ください。

9 約 40 分後には、冷水が使用できます。(6~10℃)



コップで冷水レバーを押すと蛇口から冷水が出てきます。離すと止まります。

2 回目から ボトル交換のみで使用できます

※ボトル交換の際は電源プラグを抜く必要はありません。

ウォーターサーバーの設置の仕方 **1** ~ **5** の繰り返し

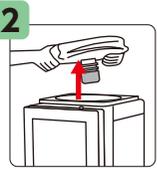
ボトル交換方法

1



空ボトルの両端を手で持つ

2



垂直に引き抜く

ボトル交換について

ボトルを取り替える時は、ボトルの端を持って、両手で垂直に引き抜いてください。

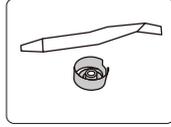
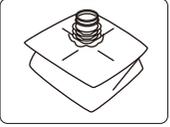
※初めてボトルを設置する場合、ウォーターサーバー内のタンクに給水されるため、初回は水の減りが早く感じられます。

※ボトルを抜く際、硬くなっている場合があります。顔を近づけず周りに人や物がないか十分に確認しけがに注意してください。

※ボトルをセットした際に、ボトル挿入口に付いている白いキャップのような「逆止弁」が外れて、ボトルの中に浮かぶ場合があります。衛生・安全上問題はありませんので、そのままお使いください。

使用済みのボトルについて

ボトルに使用している PET 樹脂は、リサイクルが容易な地球環境に優しい素材となっています。飲み終わった後、ボトル本体・ボトルキャップ・持ち手シールに分解し、ボトル本体は市町村の資源ごみとして捨ててください。ボトルキャップ・持ち手シールはプラスチックごみとして 各自治体の規則に基づき、処分してください。

キャップ素材：PE 製 (ポリエチレン) ボトル素材：PET 製
 持ち手素材：PP 製 (ポリプロピレン)

※各自治体の規則に基づき、リサイクル処分などをご判断ください。

ボトルは、手で簡単に分解できます

ボトルカバーのかぶせ方と外し方

[かぶせ方]



上からかぶせます。

[外し方]



手前から引き上げます。

セキュリティロックについて

ボトルカバーを外されないよう錠を取り付けることができるセキュリティロックボルトを、オプションでご用意しております。

※公共の場など、不特定多数でのご利用が想定される場合に、いたずらを防止することを目的としております。

※ご要望の場合は、お取扱い店にお問い合わせください。

ボトルの収納方法



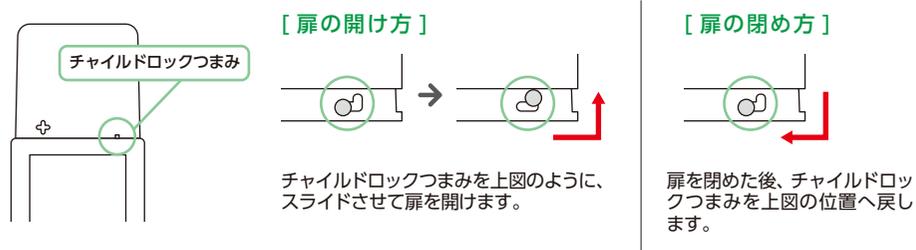
ボトル収納スペース

下扉内はボトル収納スペースになっています。ボトルを段ボールから取り出し、ボトルネックを上にして収納してください。

※「扉の開け方とチャイルドロックについて」は 18 ページをご覧ください。

扉の開け方とチャイルドロックについて

上扉

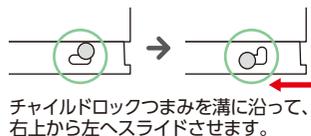


チャイルドロックについて



チャイルドロックとは、小さなお子様が悪く扉を開け、けがをしてしまうことを防止する機能です。

<ロックのかけ方>



ロックをかけた状態



※飲み物や食べ物の汁がチャイルドロック付近にかかると、ロックが正常に機能しなくなる恐れがあります。チャイルドロックつまみが正常に動か定期的に確認し、異常があればお取扱い店にご連絡ください。

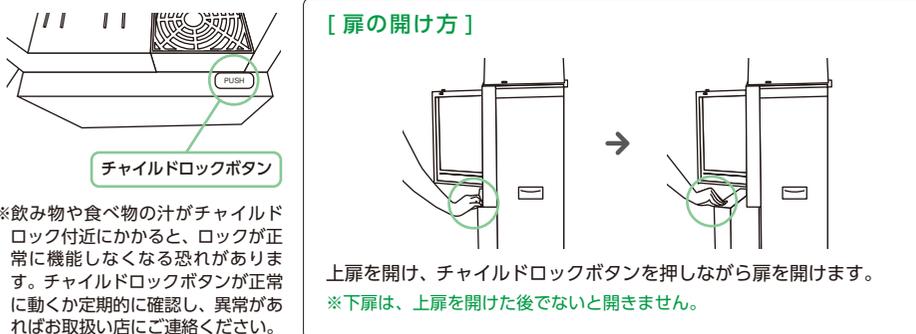
<チャイルドロックフリー機能>

チャイルドロックつまみを溝に沿って、左から右上へスライドさせると、扉が自由に開け閉めできます。

[注意]

大人だけのご家庭など、利便性を優先したい場合にお勧めです。小さなお子様がいいらっしゃるご家庭では、事故防止の為にロックをかけた状態にしてください。

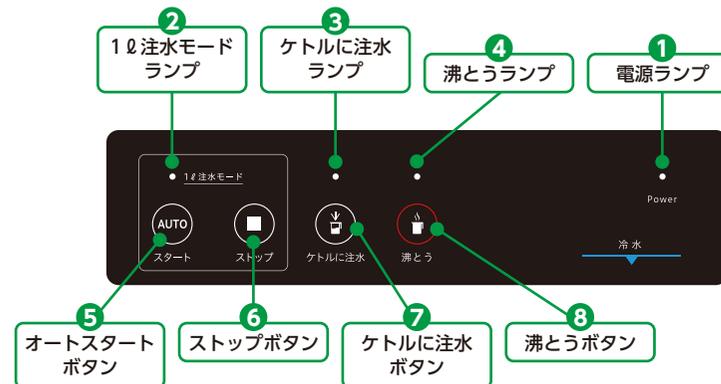
下扉



※飲み物や食べ物の汁がチャイルドロック付近にかかると、ロックが正常に機能しなくなる恐れがあります。チャイルドロックボタンが正常に動か定期的に確認し、異常があればお取扱い店にご連絡ください。

操作パネルとケトルについて

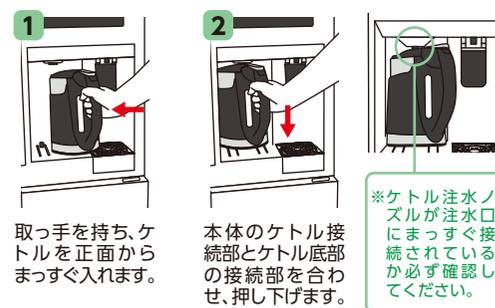
操作パネルの説明



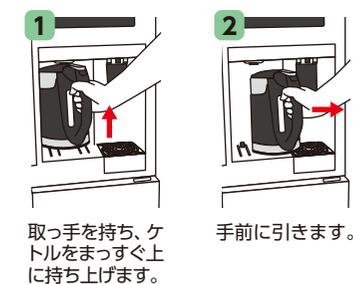
1 電源ランプ	・電源プラグをコンセントに挿すと点灯
2 1ℓ注水モードランプ	・1ℓ注水中に点灯
3 ケトルに注水ランプ	・手動注水中に点灯
4 沸とうランプ	・沸とう中に点灯
5 オートスタートボタン	・約1ℓが自動でケトルに注水され、自動で沸とう
6 ストップボタン	・1ℓ自動注水を停止
7 ケトルに注水ボタン	・押し続けている間、ケトルに注水
8 沸とうボタン	・⑦でケトルに注水した水を沸とう ・水が冷めた際に再沸とう

ケトルのセットの仕方と外し方

[セットの仕方]



[外し方]



操作パネルとケトルについて (つづき)

ケトルカバーの取り付け方と取り外し方

[取り付け方]

-  ボタンを外し、ケトル本体を上から入れます。
-  ケトルカバーのベルトを取っ手の内側に通し、ボタンを止めます。

[取り外し方]

-  ボタンを外し、ケトル本体を上から抜きます。
- ※ケトルを使用する時はケトルカバーを取り付けた上での使用をお奨めします。

お湯の沸かし方

[1ℓ を自動で注水する場合]

- ケトル接続部にケトル本体をセットします。
※「ケトルのセットの仕方と外し方」は 19 ページをご覧ください。
- 「オートスタートボタン」を押します。
 - ボタンを押して離すと自動で約 1ℓ 注水され、加熱沸とうします。
 - 「ストップボタン」を押すと自動注水が止まり、沸とうも行いません。
- 沸とうが完了すると、「ピピッ、ピピッ、ピピッ」と音が鳴り、沸とうランプが消灯します。
 - 注水後、約 10 分で沸とうします。
 - 室温によって沸とうするまでの時間が異なります。

注意 ケトルの中に水が少しでも残っている場合、1ℓ 注水モードを使用すると、水がふれます。
※必ずケトルを空にして使用してください。

[お好みの水量を手動で注水する場合]

- ケトル接続部にケトル本体をセットします。
※「ケトルのセットの仕方と外し方」は 19 ページをご覧ください。
- 「ケトルに注水ボタン」を押します。
 - ボタンを押し続けている間、注水されます。
 - 水量は水位窓から確認できます。
 - ※満水目盛 (1ℓ) を超えて水を入れないでください。
- 「沸とうボタン」を押します。
- 沸とうが完了すると、「ピピッ、ピピッ、ピピッ」と音が鳴り、沸とうランプが消灯します。
 - 室温・水量によって沸とうするまでの時間が異なります。

[火傷注意]

- ・沸とう中はケトルへの注水はしないでください。
- ・空焚きは絶対にしないでください。

- 保温機能はありません。再度沸とうさせる場合は、ケトルをセットして沸とうボタンを押してください。
- ※ケトル使用後は残り湯を捨て、ケトルの中身を毎回空にしてください。
- ※初めて使うとき・しばらく使わなかったときは、一度ケトル内のお湯を沸かして中のお湯を捨ててから使用してください。
- ※沸とう直後はフタを絶対に開けないでください。
- ※沸とう直後はケトル本体が熱くなっているので注意してください。

お湯の注ぎ方と残り湯の捨て方

[お湯の注ぎ方]

- ウォーターサーバーからケトル本体を外します。
※「ケトルのセットの仕方と外し方」は 19 ページをご覧ください。
- 給湯レバーを押しながらケトル本体を傾けてお湯を注ぎます。



[残り湯の捨て方]

お湯の注ぎ方と同じように行ってください。
※やけどの原因となるため、フタを開けて行わないでください。

※ケトル使用後は残り湯を捨て、ケトルの中身を毎回空にしてください。水を継ぎ足して使用すると、水垢の付着・お湯の変質・ケトル内側の変色・においの原因となります。
※注ぎ口からお湯が出ているときは、お湯が飛び散り、やけどの原因となるので、給湯レバーから指を離さないでください。

フタの開け方と閉め方

[開け方]

-  取っ手を持ちます。
-  親指で給湯レバーを真上に押し上げながらフタを開けます。

※ケトル内にお湯が残っている場合は、捨ててから開けてください。

[閉め方]

-  フタをケトル本体に重ね、給湯レバーを取っ手の位置に合わせます。
-  上から手で押さえます。

※指詰めにご注意ください。
※フタは音がするまで確実に閉めてください。

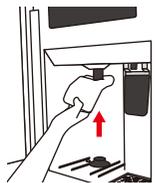
パッキンについて

使用開始から 1 年を目安に確認し、下記の状態になった場合は、使用を中止してお取扱い店にご連絡ください。

- 変形・変色した。
- フタのすき間から蒸気が漏れ出した。
- 汚れや破損がひどくなった。

故障かなと思ったら

現象	原因	対処方法
水が出ない 冷水・ケトルに注水	<ul style="list-style-type: none"> ●ボトルに水がない状態。 ●連続して大量に使用した。 ●ウォーターサーバーのボトル挿込口とボトルキャップの接続不備。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しいボトルに交換してください。 ●しばらく時間をおいて使用してください。 ●ウォーターサーバーのボトル挿込口とボトルキャップを、きちんと接続し直してください。 (15 ページ「ウォーターサーバーの設置の仕方」4 を参照。)
冷水が出ない 冷たい水にならない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けている。 ●停電、またはブレーカーがおちている。 ●冷水の出し過ぎ、または冷却時間が短すぎる。 ●設置場所の温度が高い。 ●背面の放熱板にホコリが詰まっている。 ●ウォーターサーバーの背面が壁に近い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンセントに挿し込んでください。 ●ご自宅、オフィスなどの電気の配電盤を点検してください。 ●一度に大量に使用しないようにするか、しばらく時間をおいて使用してください。 ●直射日光の当たらない風通しの良い場所に設置してください。 ●背面放熱板（黒い金網部分）を清掃してください。 ●背面を壁より 15 cm 以上離して、背面放熱板からの熱が逃げるようにしてください。
水が漏れている 本体の内部・外部 いずれから 漏れている	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーターサーバーのボトル挿込口とボトルキャップの接続不備。 ●ドレーンがゆるんでいる。 ●ボトルの損傷。 	<p>先にボトルを外し、蛇口から冷水を全て出し、電源プラグを抜いてください。 お取扱い店にご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ウォーターサーバーのボトル挿込口とボトルキャップを、きちんと接続し直してください。 (15 ページ「ウォーターサーバーの設置の仕方」4 を参照。) ●背面のドレーンがゆるんでいる場合は、締めてください。 ●ボトルに傷がある場合は、新しいボトルと交換してください。
「ピー」という 電子音が 鳴り続けている	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーターサーバー内部で水が漏れている。 	<p>先にボトルを外し、蛇口から冷水を全て出し、電源プラグを抜いてください。 お取扱い店にご連絡ください。</p>
騒音（ノイズ） がする	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーターサーバーが傾いている。 ●壁や他の製品にウォーターサーバーが触れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーターサーバー本体を水平に保ってください。 ●ウォーターサーバーを壁や他の製品から離してください。
白い結晶物が出る 冷水蛇口・ ケトル注水ノズル	<ul style="list-style-type: none"> ●加熱や冷却により白い結晶物があらわれることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●天然のミネラル成分が結晶化したものですので、飲んでも問題ありません。気になるようでしたら、結晶物を取り除いてお飲みください。

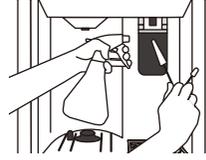
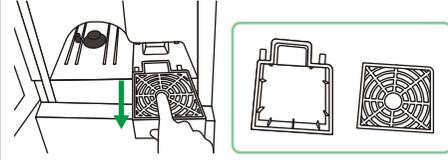
現象	原因	対処方法
ケトルが ウォーターサーバー にセットできない	<ul style="list-style-type: none"> ●ケトル注水ノズルが出てきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ケトル注水ノズルを清潔なふきんなどで押し上げてください。 
ブレーカーが落ちた	<ul style="list-style-type: none"> ●他の家電製品と同時に使用している。（電子レンジ・炊飯器・トースター・ポットなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ●同時に使用しないでください。
お湯が沸かない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けている。 ●ケトル本体がケトル接続部に正しくセットされていない。 ●電源接続部に金属やゴミが付いている。 ●注水せずに、「沸とうボタン」を押した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンセントに挿し込んでください。 ●ケトル接続部に正しくセットしてください。 (19 ページ「ケトルのセットの仕方と外し方」を参照。) ●金属やゴミを取り除いてください。 ●先に注水を行ってください。
お湯や水が こぼれている ・注水口 ・注ぎ口 ・上扉の中 ・ケトルまわり	<ul style="list-style-type: none"> ●満水目盛を超えて水を入れている。 ●ケトルの中に水が残っている状態で、1ℓ注水モードを使用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水を満水目盛（1ℓ）以下に減らしてください。 ●1ℓ注水モード使用時は、ケトルの中身を完全に空にしてください。
ケトルの取っ手の下 から水滴が垂れる	<ul style="list-style-type: none"> ●満水目盛を超えて水を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水を満水目盛（1ℓ）以下に減らしてください。
ケトルのフタから お湯や水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ●フタが閉まっていない。 ●パッキングが劣化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フタをしっかり閉めてください。 (21 ページ「フタの開け方と閉め方」を参照。) ●お取扱い店にご連絡ください。
「ゴー」という 音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●「ゴー」という音は、湯沸かし中に発生する音です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●故障ではありません。
「ゴー」という 音がいつもより 大きい	<ul style="list-style-type: none"> ●ケトル本体の内側が汚れていると特に音が大きくなります。 ●上扉が開いていると音が大きく聞こえます。 ●ケトル注水ノズルとケトルが確実に接続されていないと音が大きく聞こえます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●クエン酸で洗浄してください。 (26 ページ「お手入れの仕方」を参照。) ●上扉を閉めてください。 ●ケトル注水ノズルとケトルが確実に接続されているか確認してください。 (19 ページ「ケトルのセットの仕方と外し方」を参照。)

故障かなと思ったら (つづき)

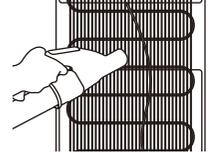
現象	原因	対処方法
使用後しばらくすると「カチン」と音がする	●熱くなった部品が冷めるときに発生する音です。	●故障ではありません。
お湯がにおう 変な味がする	●使い始めのうちは、樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。 ●ケトルが汚れている。 ●ケトルの中に残った水が古くなっている。 ●水を継ぎ足して使用している。	●故障ではありません。 ●クエン酸で洗浄してください。 (26ページ「お手入れの仕方」を参照。) ●古くなった水は捨ててください。 ●使用後は残り湯を毎回捨ててください。
お湯の中に白い浮遊物がある	●天然水の特徴により、ミネラルが結晶化し、お湯に浮遊することがあります。	●天然のミネラル成分が結晶化したものですので、飲んでも問題ありません。気になるようでしたら、結晶物を取り除いてお飲みください。
・乳白色のザラザラしたものが付く ・赤い斑点が付く ケトル本体内側	●水の成分のミネラル(水垢)が固まって付着した。	●クエン酸で洗浄してください。 (26ページ「お手入れの仕方」を参照。)
乳白色・黒色・虹色などに 変色した ケトル本体内側	●水の成分のミネラルがケトルに付着し、変色することがあります。	●問題ありません。
お湯が出にくい	●注ぎ口に、水の成分のミネラル(水垢)が固まって付着した。	●クエン酸で洗浄してください。 (26ページ「お手入れの仕方」を参照。)

お手入れの仕方

ウォーターサーバー

冷水蛇口	目皿・水受けポケット	本体
目安…1週間に1回 清潔なふきんや柔らかい布を少し濡らして汚れを拭き取ってください。細かい部分はブラシなどで清掃してください。	目安…1週間に1回、またはケトル沸とう後毎回 たまり水を捨て、台所用中性洗剤で洗浄し、よくすすいでください。 取り外し方：図のように目皿・水受けポケットを持って手前に引くと簡単に取り外すことができます。	目安…1週間に1回 清潔なふきんや柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
		

ボトル挿込口付近	ウォッシュャブルカップ
目安…ボトル交換時 ボトル交換時に、たまり水を清潔なふきんや柔らかい布で必ず拭き取ってください。ボトルを挿し込んであるときは清掃できませんので必ず行ってください。	目安…1ヶ月に1回 台所用中性洗剤で洗浄し、よくすすいでください。 取り外し方：図のようにウォッシュャブルカップを左に回転させて、丸のマークに合わせて持ち上げると、取り外すことができます。
	1  2  

ウォッシュャブルカップ取付口	ケトル接続部	背面部分
目安…1ヶ月に1回 清潔なふきんや柔らかい布で拭き取ってください。 ※洗剤やアルコールは絶対に使用しないでください。	目安…1ヶ月に1回 清潔なふきんや柔らかい布で拭き取ってください。 ※水で濡らさないでください。	目安…1ヶ月に1回 付着した綿ポリコリなどを掃除機で吸い取った後、清潔なふきんや柔らかい布で拭いてください。
		

お手入れの仕方 (つづき)

ケトル

フタ・本体外側	<p>清潔なふきんや柔らかい布で拭き取ってください。 ※汚れが取れにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませて拭き取ってください。</p>
本体内側	<p>濡らした柔らかいスポンジなどで洗い、水ですすいでください。 ※接続部を濡らさないように注意してください。 下記のようになってきたら、クエン酸で洗浄をしてください。 ●サビのような赤い斑点が付いた。 ●乳白色・黒色・虹色に変色した。 ●お湯に白い浮遊物が浮く。 ※水の中に含まれているミネラル成分によって上記のようになることがありますが、有害ではありません。</p> <p>[クエン酸洗浄のやり方] ※市販品の洗浄用クエン酸を使用してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ケトルにクエン酸 30g を入れ、ウォーターサーバーにセットします。 2 「ケトルに注水ボタン」を押し、水を満水目盛 (1ℓ) まで入れてから一旦ケトルを外し、中身を混ぜます。 3 ケトルをウォーターサーバーに再セットし、「沸とうボタン」を押して水を沸とうさせます。 4 そのまま 1 時間～ 2 時間放置し、その後中身を捨ててからフタを開け、十分に水ですすぎます。 5 ケトルをもう一度ウォーターサーバーにセットし、「オートスタートボタン」を押し、沸とうさせます。 6 沸とう後、フタを閉めたまま中身を捨ててください。 ※熱湯に注意してください。 <p>※「ケトルのセットの仕方と外し方」は 19 ページをご覧ください。</p>
底部・接続部	<p>清潔なふきんや柔らかい布で拭き取ってください。 ※丸洗いは絶対に行わないでください。また、接続部に水をかけないでください。</p>
ケトルカバー	<p>洗濯してください。 手洗いで洗濯後、自然乾燥を行ってください。 ※タンブル乾燥・アイロン仕上げ禁止</p>

※必ずケトル接続部から外し、残り湯を捨て、ケトル本体が完全に冷めてからお手入れを行ってください。
※たわし・化学ぞうきん・磨き粉・クレンザー・シンナー・ベンジン・漂白剤などは使わないでください。
※変形・破損の原因になるため、食器洗い乾燥機での洗浄・乾燥はしないでください。

仕様

商品名	エコット		
商品寸法 (mm)	W310×D348×H1,290		
重量	約 19.7 kg		
冷水タンク	2 L	ケトル	1 L
電動機消費電力	100W	ヒーター消費電力	800W

材質： 冷水タンク / SUS304 フロントパネル / ABS 樹脂
 ケトル / SUS304 サイドパネル / SPCC
 天面パネル / ABS 樹脂 底板 / ABS 樹脂

- 冷水容量：6℃～10℃の冷水 7 杯分 (1 杯 / 150cc)
- 定格電圧：AC100V/50～60Hz
- 電源コード：1.8m

※本機は日本国内用に設計されています。規格の異なる海外では使用できません。
 ※15 A 以上のコンセントを使用してください。
 ※製品改良の為、予告無く仕様・外観を変更する場合があります。